

総合防災訓練における一次訓練と二次訓練

特色のある内容

春日学区自主防災会（会長：高瀬博章）では、日頃から、「自治」「福祉」「防災」の三位一体の活動を実施しています。毎年11月に実施する学区総合防災訓練は、学区防災活動の集大成として行われています。

訓練内容は、地震発生から12時間までの想定（一次訓練）と、地震発生から24時間経過後（二次訓練）に分けて実施しており、市総合防災訓練の時系列にあわせて実施しています。

一次訓練は、3ヶ所の拠点会場で、消火・救出・応急手当訓練を、二次訓練は、避難所に指定されている元春日小学校体育館で避難所運営訓練を行っています。

また、過去には、図上訓練（DIG）も行われました。



特記事項

- 平成19年度から、総合防災訓練で避難所運営訓練を実施しています。
- 避難所の運営は、区役所や他の部局と連携していかなければなりません。従って、今後の学区総合防災訓練は、一次訓練内容の充実を図るとともに、二次訓練では、区役所等の職員と連携し、具体的な活動を実施すれば、京都市地域防災計画の基本理念に基づく総合防災訓練が実施でき、学区民の災害対応能力の向上に繋がると思います。

高齢者同士の避難訓練

特色のある内容

高齢化が進む大原学区自主防災会では、高齢者同士が助けあい安全を確保するために、避難訓練に車椅子を積極的に活用し、体の不自由な人を安全に避難させるための車椅子を使用した訓練を実施するなど、避難者の不安心理を習得しています。また、地元の協力体制づくりに大原記念病院から車椅子の訓練への貸し出しを受け、訓練で使用、今後は災害発生時に資器材提供等の協力体制をつくり、自主防災会と締結を結べる地盤づくりにと考えています。



特記事項

- 地域内の高齢化は、当自主防災会においても急速に進行しています。こうした中、今回の防災訓練の計画も、高齢者を中心とした内容を考える必要がありました。
- 今後も地域内の高齢化は、避けられない現状にあることを踏まえて、高齢者が主体の研修会や訓練を計画していきたいと思っています。
- 大原という観光地域が活かせるように、防災マップも観光客が利用しやすいものを考えるなど、地域特性のある防災体制を課題にしたいと考えています。

車いすを用いた避難訓練

特色のある内容

乾学区自主防災会では、今年度の学区総合防災訓練で車いすを使用した避難訓練を実施した。当日は当学区社会福祉協議会から車いすを借用し、洛中小学校グラウンド内に高さ10センチメートルの段差などの障害物を設け、各自主防災部の代表者が実際に人を乗せた車いすを押し、どうしたら障害物を乗り越えることができるのか体験した。訓練参加者からは「少しの段差でも重たかった。」、「コツをつかんだらあまり力は要らなかった。」などの声が聞かれ、非常に有意義な訓練となった。



特記事項

- 自主防災部の集合場所から訓練会場の洛中小学校までの避難中に車いすを使用するという意見と、慣れない車いす操作により公道での交通事故のおそれがあるという意見に別れました。
- 今回は安全を考慮し、洛中小学校グラウンド内での訓練となりました。また、このような訓練を通じて災害時の要配慮者に対する避難誘導時の支援体制について今後検討を進めることが必要です。

分譲マンションの避難訓練

特色のある内容

明倫自主防災会では、住民の半数以上が分譲マンションの居住者であることから、本年度の総合防災訓練では、14の分譲マンションから住民が一斉に一時避難場所である京都芸術センターグラウンドに向かう避難訓練を行った。

地震発生は、各マンションに設置されている自動火災報知設備を鳴動させ、人員の集合及び確認は、自主防災会から各マンションに事前配布したプラカードを活用した。避難訓練後、学区内にある京都通信病院の協力のもと、負傷者に対する心配蘇生法及び応急手当を実施した。参加者は、指導者が同病院の看護師ということもあり、真剣に訓練に参加していた。



特記事項

- 近年、核家族化が進み、隣近所とのつながりが少ないため、地震発生時に被害の拡大が懸念されている。
- 明倫自主防災会では、特にマンションの建設が進み、住民の横のつながりが形成されにくい状況です。
- マンションを一つの単位として訓練を実施することにより、住民同士のコミュニティーが形成され、被害の軽減を図ることができると考えられます。

防災訓練で築く地域の絆

特色のある内容

南浜学区は、城下町の面影を残しており、その結果として古い木造建物が密集しているため、災害が発生すれば甚大な被害が予想されます。

組織としては大変大きい（96自主防災部）ため、小回りが利きにくい状況ですが、常々の自主防災活動は各自主防災部単位で実施し、毎年1月初旬に伏見南浜小学校において総合防災訓練を実施しています。

本防災訓練は、南浜消防分団の消防出初式を合わせて行ない、他各種団体のご支援、ご協力を頂き、防災訓練の後「お正月子供の集い」として毎年700名以上の参加者で、盛大に実施されています。

総合防災訓練の内容については、避難訓練、初期消火訓練、地震体験訓練、煙中体験訓練、炊き出し訓練等々総合的に実施しています。

今後も積極的に防災活動に力を入れて「いざ！」に備え、防火防災活動と知識の普及に努め日々努力して行きます。



特記事項

- 災害に備えるには日々の活動に加え将来の活動の軸となる人材を育成しなければなりません。
- 南浜学区自主防災会では、昨年につき防火見回り隊を結成し、南浜小学校おやじの会と子供達とともに南浜消防分団の協力を得て、毎月一日の夜「防火防災火の用心」を呼びかけています。

特に子供たちの夏休み期間中は「うっかり火災」を防止するため、7月、8月の2ヶ月間に7回実施し、学区住民からも非常に信頼されています。

- 防災訓練と言えば高齢者の参加が多く見受けられる昨今ですが、子供の頃から地域防災活動に参加体験させることによって、将来の防災リーダーとして育ててくれることを期待しています。